

有害プランクトン情報 (令和3年度 - No. 7)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合
- | | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|--------|
| 10月 第1回 | 内湾 (8地点) | 10/4, 5 | 内房 (7地点) | 10/4,5 |
| 10月 第2回 | 内湾 (8地点) | 10/20, 21 | 内房 (7地点) | 10/20 |

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- 第2回調査で、沖合漁場（富津沖、船橋沖を除く内湾全域）でカレニア属がみられました（最高密度は羽田沖の36細胞/mL）。密度は高くありませんでしたが、注視が必要です。

※ シャットネラ属は1細胞/mL、シュードシャットネラ属は100細胞/mL、ヘテロシグマ属は1,000細胞/mL、カレニア属は100細胞/mL以上で注意報を発出します。

- 赤潮（透明度1.5m以下、pH8.5以上、酸素飽和度150%以上）はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
- 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・10/4, 5 内湾の全域（沖合）最高密度は羽田沖の2.2細胞/mL
 - ・10/20, 21 船橋、千葉沖を除く内湾の全域（沖合）最高密度は羽田沖および盤洲北部の0.4細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・10/4, 5 富津、船橋沖、アクアライン北部を除く内湾域（沖合）最高密度は羽田沖の0.2細胞/mL
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属、シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属、カレニア属は確認されませんでした。
- ※ 赤潮（透明度1.5m以下、pH8.5以上、酸素飽和度150%以上）は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

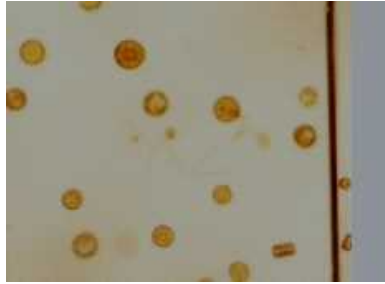
- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
- 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータがみられました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・10/4, 5 2海保沖（沖合）密度は0.4細胞/mL
 - ・10/20, 21 大貫沖および浦賀沖（沖合）密度はそれぞれ0.05細胞/mL, 0.1細胞/mL
貝毒の被害情報はありません。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

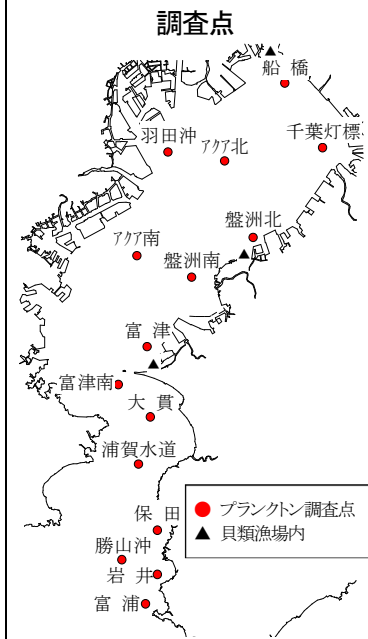
- 10/4,10/5 内湾・内房 珪藻スケルトネマ属、ラウドリア属、タラシオシラ属
など
- 10/20,10/21 内湾・内房 珪藻タラシオシラ属、アクティノプティス属、渦鞭毛
藻カレニア属など



カレニア ミキモトイ
(10/20 富津沖)



アクティノプティス属
(10/20 富津沖)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp